

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2023年 6月 27日

千葉市長 神谷 俊一 様

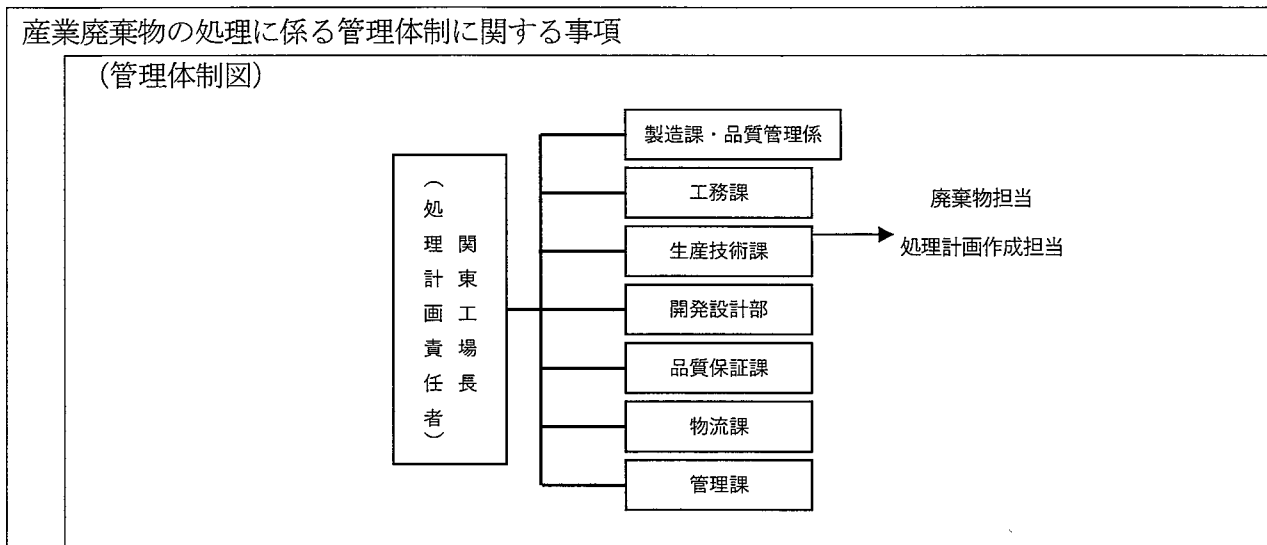


提出者

住 所 千葉県千葉市緑区大野台2丁目5番1号
氏 名 株式会社イトーキ 生産本部 関東工場
工場長 西楨 馨
電話番号 043-226-5391

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	㈱イトーキ 関東工場
事業場の所在地	千葉県千葉市緑区大野台2丁目5番1号
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：製造業 中分類：家具・装備品製造業 小分類：金属製家具製造業
②事業の規模	製品出荷額（前年度実績）4,359,661千円
③従業員数	93名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<別紙1>第1面 ④産業廃棄物の一連の処理の工程 の通り



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2「産業廃棄物の種類と排出量」の通り	
	排出量	- t	- t
	（これまでに実施した取組） ・歩留り削減（廃プラ、石膏ボード） ・分別の徹底による有価物化 ・塗料ロス削減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2「産業廃棄物の種類と排出量」の通り	
	排出量	- t	- t
	（今後実施する予定の取組） ・歩留り削減（廃プラ、石膏ボード） ・分別強化による有価買取の推進		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラ：有価で出荷できるものを分別し、できる限り産廃排出量を減らしている
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 上記に加え、混合廃棄物についてもできる限りの分別を推進していく。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2「産業廃棄物の種類と排出量」の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) ・薬品変更による含水率の低減 ・自然脱水		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2「産業廃棄物の種類と排出量」の通り	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) ・新規設備導入による汚泥含水率の低減		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2「産業廃棄物の種類と排出量」の通り	
	全処理委託量	- t	- t
	優良認定処理業者への処理委託量	- t	- t
	再生利用業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) ・可能な限り再生利用業者への処理委託を行う。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2「産業廃棄物の種類と排出量」の通り	
	全処理委託量	- t	- t
	優良認定処理業者への 処理委託量	- t	- t
	再生利用業者への 処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者への 処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	- t	- t
(今後実施する予定の取組) ・可能な限り優良認定処理業者から選定する。 ・委託先処理業者には定期的に実地確認を実施する。 ・歩留り削減の検討を続ける。			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

<別紙1>第1面 ④産業廃棄物の一連の処理の工程

(株)イトーキ 関東工場より発生し

- ・ 廃プラスチック：再生処理業者に委託してマテリアルリサイクル（再生樹脂原料化）
又はサーマルリサイクル（固形燃料化）
- ・ 木くず→再生処理業者に委託して製紙用及び木質燃料用チップとして再資源化
- ・ 汚泥→再生処理業者に委託して焼却処理後、路盤材やセメント原料として再資源化
- ・ 廃油→再生処理業者に委託して油水分離処理後、
（油分）再生重油として再資源化 （水分）蒸発処理
- ・ 石膏ボード→再生処理業者（広域認定業者）に委託して原材料として再資源化
- ・ ガラス→再生処理業者に委託してサーマルリサイクル後路盤材として再資源化

<別紙2>産業廃棄物の種類と排出量

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項								
①現状	【前年度（令和4年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	木くず	ガラス、コンクリートくず 及び陶磁器くず		
	排出量	1161.8 t	49.9 t	38.4 t	4.1 t	364.9 t	t	t
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	木くず	ガラス、コンクリートくず 及び陶磁器くず		
	排出量	1150.1 t	49.4 t	38.0 t	4.0 t	361.2	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項								
①現状	【前年度（ 年度）実績】							
	産業廃棄物の種類							
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類							
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項								
①現状	【前年度（令和3 年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥						
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	1003 t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類							
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の種類	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	993 t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】							
	産業廃棄物の種類							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	木くず	ガラス、コンクリートくず及び陶磁器くず		
	全処理委託量	158.8 t	49.9 t	38.4 t	4.1 t	364.9 t		
	優良認定処理業者への処理委託量	107.7 t	0 t	38.4 t	4.1 t	2.5 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	158.8 t	49.9 t	t	t	364.4 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	38.4 t	4.1 t	t	t	t
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	木くず	ガラス、コンクリートくず及び陶磁器くず		
	全処理委託量	157.2 t	49.4 t	38 t	8	366.7 t		
	優良認定処理業者への処理委託量	106.6 t	0 t	38 t	5.3 t	5.4 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	157.2 t	49.4 t	t	5.3 t	366.7 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	38 t	t	t	t	t	